

No.53 春号

発行元：とよはし市民会議
 〒440-8501 豊橋市今橋町1 豊橋市役所 7階
 とよはし市民会議内(発行責任者)渡辺則子
 e-mail: g-watana@mx2.tees.ne.jp

てーぶる

Table



「まちなか図書館」(仮称)情報が、市民に届かないわけ。

とよはし市民会議は

豊橋市議会基本条例第10条「議会審議における論点情報の形成」に則り

「まちなか図書館建設」「生ごみ下水汚泥混合処理」予算について
 政策等の発生源、提案に至るまでの経緯、市民参加の実施の有無、
 総合計画その他の計画との整合性、財源措置、将来にわたる
 効果及び費用等について質問しました。

そして、計画段階当初における「市民参加」「情報不足」を指摘し
 予算案に反対しました。

◆ 今号の記事紹介 ◆

～ 表面 ～
 とよはし市民会議予算反対理由

～ 裏面 ～
 TOPICS:「居場所」
 連載:タバコのはなし
 第6回
 「三次喫煙について。」

とよはし市民会議とは？

いつから？ 1995年から
 現在5期目です。
 だれが？ 代表渡辺則子が
 党派に属せず
 一人会派です。
 だれと？ 市民のみなさんと
 「ゼロ歳から市民」です。
 なにをしてきたの？
 2011年の3.11以降、「脱被曝・9条
 ・子ども条例」を中心に子どもの
 命を守る提案を続けています。

○ 予算反対理由

3月議会では、まちなか図書館および生ごみ下水汚泥を混合処理し、メタン発酵する施設計画にゴーサインを出すだけの十分な議論ができませんでした。図書館は数十億、メタンガス施設は数百億円の予算が伴う大事業です。市民の皆さんへの説明責任を負う覚悟を明確にする一歩として、予算案に反対しました。

○ 両計画の共通問題点

① 事業決定まで短期間であり、納得できる情報が少ない。
 ② 民間関与の部分が大きく、税金投入の是非や効果を検討できない。
 ③ 両施設とも市民参加と協力が不可欠にも関わらず、計画発表段階で市民全体を想定した対応が行われていない。

■ 予算反対後の市民会議の取組み

○ まちなか図書館

① 建設計画発端から決定にいたるプロセスを納得できるまで情報収集して議会質問に活かします。
 ② 関連会議等の傍聴や公開を求めて行きます。
 ③ 「公共図書館」社会教育施設を明確にし、市の財政負担の軽減について、徹底した説明を求めます。
 ④ にぎわいのための図書館づくりは、公共の仕事

○ メタン発酵施設

① 長岡市で昨年稼働中の、生ごみメタン発酵施設を視察します。
 ② 前芝地区の生ごみ分別収集実験に学びます。

とよはし市民会議 予算案反対理由

■ 反対したふたつの予算

まちなか図書館「土木費」
 名豊ビル建替の際、公共図書館を民間ビル内に建設する計画。
 ① 基本計画作成業務委託料八百八十四万円
 ② 駅前大通2丁目地区調査設計計画作成補助金1億八百二十万円
メタン発酵施設「下水道費」
 市内全域の台所生ごみを分別収集し、下水汚泥と混合処理しメタンガス発酵させる施設計画。
 ① パイオマス資源利活用施設建設負担金三百十万円
 ② 汚泥有効利用事業修繕費五千三百八十四万円
 ③ 民間資金活用事業調査委託料五百六十八万円
 ④ PFIによる施設設計・建設、20年間の維持管理運営に関する市の負担額二百五十四億三千四百万円

③ 生ごみ堆肥化等有効利用のりサイクル比率上でごみ減量を提案します。
 ④ 黒部市の生ごみと下水汚泥混合処理メタン発酵施設を視察します。

■ 基本情報として

● **中心市街地活性化基本計画**
 駅を中心とする賑わいのまちづくり計画です。デパート跡に店舗と住宅を合わせたビルが増え、「ここに」から「プラット」へと進んだ計画は、第2期目に入りました。

● **「素案」とパブリックコメント**
 昨年11月15日議会に提出された第2期計画素案(50頁)に、初めてまちなか図書館計画が登場。その翌日から1ヶ月間行われた素案への意見募集(パブリックコメント)素案は一〇八頁の「計画」にまとめられて2月6日国に提出。3月28日に認定された第2期計画は、市のホームページで読むことができます。

● 第2期基本計画に記載された図書館計画(抜粋)

* 規模 3千〜4千㎡
 * 実施主体 豊橋市(予定)
 * 目的達成のための位置づけ及び必要性
 駅前大通二丁目地区市街地再開発事業において、当該地区の拠点性を高め、中心市街地の創出の一層にぎわいの創出とステイタス向上を図るため、新たにま



武蔵野プレイスに行ってきました。

裏面のトピックス「居場所」もぜひ、ご覧下さい。

